

平成29年度 国保保健指導事業

実施計画書

有田市

## 1. 事業目的

健康日本 21（第二次）の推進において、健康寿命の延伸・生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底が明記されている。効率的、効果的な事業の実施を目的に、医科と調剤のレセプトをデータ化し、特定健診データを突合させたデータベースを作成。本市の詳細な医療費者傷病状況を把握し、データヘルス計画を策定し、特定健診未受診者対策・特定保健事業を実施することにより、医療費適正化・市民全体の健康維持推進を実現する。

## 2. 事業内容

特定保健未受診者に対し、アプローチ（個別勧奨通知・電話勧奨・街頭啓発等）の充実を図り、生活習慣病の予防に繋げられる教室等を開催し、それぞれの年齢・健康状態に応じた健康づくりに関心を持てるよう実施する。

本市では、特定健診の受診率に加えガン検診受診率も同様に低い状況であることから、国保被保険者をはじめ市民の健康増進への関心を高めるため健康増進啓発事業を実施する。

## 3. 実施方法

### （1）特定健診未受診者対策

個別の勧奨通知・電話勧奨、40～44歳到達者に対する個別案内・街頭啓発など行い、県下でも低い水準の受診率の向上をめざす。街頭啓発は有田市健康推進委員会の協力を求めて実施する。

### （2）特定健診受診者のフォローアップ

特定健診結果通知時、よりわかりやすい・より詳しい案内の送付を行う。また、面接で結果説明を行い保健指導に繋げていく。

### （3）健康教室の実施

国保被保険者対象に、各種運動教室及び栄養教室を開催。糖尿病予防教室などについては、特定健康診査により当該数値が高い方を対象に参加者を募り実施する。

### （4）健康増進啓発事業の実施

健康増進啓発事業として、有田市医師会と健康フェアを共催し、特定健診の啓発をはじめ、講演会を実施する。また、有田市立病院や国保連合会の協力を得て、各種測定機器を借り受けて測定コーナーを設ける。血圧、体脂肪率、骨密度等を測定し、看護師や保健師による結果説明を行う。さらに医師会医師による講演会を行うなど、市民の健康への関心を高めていく。